

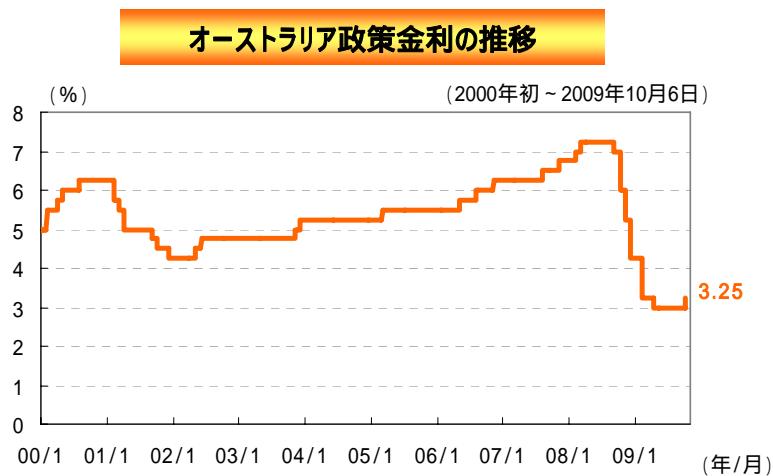
10月6日の豪州利上げについて

大和証券投資信託委託株式会社

豪州の中央銀行であるRBA(豪州準備銀行)は、10月6日に開催された金融政策決定会合で、政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートを0.25%引き上げ3.25%とすることを決定しました。今年4月の0.25%利下げ以来の政策金利変更で、利上げは昨年3月以来1年7ヶ月ぶりとなります。

RBAは会合後に声明を発表しました。その中でRBAは、中国経済の力強さなどに牽引された世界経済の回復を指摘、豪州経済についても予想よりも強いとの認識を示しました。また失業は予想していたほど増大しておらず、インフレは想定されていたほど低下しないだろうと述べています。経済の持続的な成長、インフレのターゲット近辺へのコントロールのため、RBAは超低金利による景気刺激的な政策を徐々に弱める時期であると判断、今回の利上げ決定につながりました。

市場では、今回は据え置きを予想する向きが多かったため、ややサプライズと受け止められています。当面、豪ドル買い、短期債利回り上昇方向への圧力が見られやすいでしょう。しかし、一部には早期利上げを予想する意見もすでに見られ、今回でなくとも利上げは時間の問題というコンセンサスが出来上がっていたため、市場は比較的冷静な反応を示しています。再び利上げサイクルに踏み出したRBAが今後どのようなペースで利上げを行っていくのかを判断するため、市場は今後の金融当局者の発言、各種景気指標を注意深く見守っていくこととなるでしょう。



(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会